

POWERED by **Dialog**

OUTRIGGER DEVICE IN SPECIAL PURPOSE VEHICLE

Publication Number: 06-199491 (JP 6199491 A) , July 19, 1994

Inventors:

- SUGIYAMA NOBUO

Applicants

- SUGIKOU KK (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

Application Number: 05-015980 (JP 9315980) , January 05, 1993

International Class (IPC Edition 5):

- B66C-023/78
- B60S-009/02
- B66F-007/24

JAPIO Class:

- 26.9 (TRANSPORTATION--- Other)
- 26.2 (TRANSPORTATION--- Motor Vehicles)

Abstract:

PURPOSE: To provide an outrigger device which contributes largely to improving the working efficiency and safety of a special purpose vehicle.

CONSTITUTION: This outrigger device 1 in a special purpose vehicle, which consists of liftable legs 2 protruding from the car body of the special purpose vehicle and stabilizes the vehicle body by bringing the lower ends of the legs 2 into contact with the ground at the time of prescribed work by the special purpose vehicle, is provided, at the lower ends of the legs, with driven members 4 equipped with hard ground contact rotating elements such as rotating wheels and rollers which rotate while the vehicle is traveling.

JAPIO

© 2004 Japan Patent Information Organization. All rights reserved.
Dialog® File Number 347 Accession Number 4728491

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-199491

(43) 公開日 平成6年(1994)7月19日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 6 C 23/78	B	7309-3F		
	F	7309-3F		
B 6 0 S 9/02		7270-3D		
B 6 6 F 7/24		8611-3F		

審査請求 未請求 請求項の数5 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平5-15980

(22) 出願日 平成5年(1993)1月5日

(71) 出願人 591195189

株式会社杉孝

神奈川県川崎市川崎区駅前本町3-1 リ

クルート川崎東口ビル

(72) 発明者 杉山 信夫

神奈川県川崎市川崎区駅前本町3-1 リ

クルート川崎東口ビル9F 株式会社杉孝
内

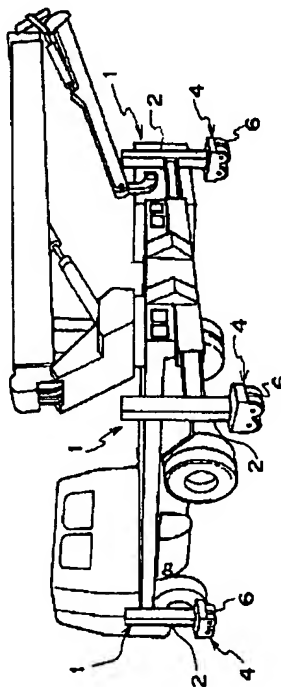
(74) 代理人 弁理士 植田 茂樹

(54) 【発明の名称】 特装車におけるアウトリガー装置

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 本発明は、特装車の作業能率と安全性の向上に著しく貢献し得る、アウトリガー装置を提供する。

【構成】 特装車の車体から張出した昇降自在な脚体2から成り、上記特装車が所定の作業を行うときに上記脚体2の下端を接地させて車体を安定させる、特装車におけるアウトリガー装置1において、脚体2下端に、車輻の走行に伴って回転する硬質の接地回転体、例えば回転車輪あるいはローラ等を有する随動部材4を取り付けてある。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】特装車の車体から張出した昇降もしくは伸縮自在な脚体から成り、上記特装車が所定の作業を行うときに上記脚体の下端を接地させて車体を安定させる、特装車におけるアウトリガー装置において、前記脚体の下端に、車輻の走行に伴って回転する硬質の接地回転体を備えた随動部材を取り付けた、ことを特徴とする特装車におけるアウトリガー装置。

【請求項2】前記脚体はその下端に接地される支持プレート10を有し、この支持プレートに前記随動部材が取り付けられていることを特徴とする請求項1に記載の特装車におけるアウトリガー装置。

【請求項3】前記随動部材が前記支持プレートに着脱自在に装着されていることを特徴とする請求項1もしくは請求項2に記載の特装車におけるアウトリガー装置。

【請求項4】請求項1、請求項2もしくは請求項3に記載の特装車におけるアウトリガー装置において、前記随動部材は、フレームとこのフレームに回転自在に支持された前後1組の車輪から成り、上記フレームは、上記車輪を回転自在に支持した上方に、前記支持プレートの縁部をスライド自在に受け入れる溝部と、この溝部に受け入れられた支持プレートを支持する支持面及び抜け防止機構とを有している、特装車におけるアウトリガー装置。

【請求項5】請求項1、請求項2もしくは請求項3に記載の特装車におけるアウトリガー装置において、前記随動装置は、フレームとこのフレームに回転自在に支持された前後1組のローラから成り、上記フレームは、上記ローラを支持した上方に、前記支持プレートの縁部をスライド自在に受け入れる溝部と、この溝部に受け入れられた支持プレートを支持する支持面及び抜け防止機構とを有している、特装車におけるアウトリガー装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、特装車におけるアウトリガー装置の改良に関するものである。

【0002】

【従来の技術】特装車のうち、橋梁、高架道路等の新設及び補修工事に用いられる高所作業車のように作業を安定した状態で行うことが要求される特装車では、車体にアウトリガー装置が取り付けられている。

【0003】このアウトリガー装置は、特装車の車体前後両側に油圧操作によって伸縮自在な4つの脚体を配設し、作業時にこれらの脚体を降下させ、脚体下端のリジッドな支持プレートを接地させることにより、車体を安定させる。また、不使用時には脚体を上げ、車輻の走行に支障を来さないようにする。

【0004】

2

【従来技術の問題点】ところが、上記した従来のアウトリガー装置では、補修等の作業箇所が連続し、例えば高所作業車を少しずつ移動させて所定の作業を行わなければならない場合、移動の都度、脚体を昇降させる必要があり、手間がかかって作業能率が悪い。また、脚体を十分に引き上げないでうっかり車輻を走行させると、事故の要因となる。

【0005】本発明は、このような点に鑑み、特装車の作業能率と安全性の向上に著しく貢献し得る、アウトリガー装置を提供することを目的とするものである。

【0006】本発明は、上記した目的を達成するために、特装車の車体から張出した昇降自在な脚体から成り、上記特装車が所定の作業を行うときに上記脚体の下端を接地させて車体を安定させる、特装車におけるアウトリガー装置において、脚体下端に、車輻の走行に伴って回転する硬質の接地回転体を有する随動部材を取り付けた点に特徴を有するものである。

【0007】随動部材は脚体下端もしくは下端に設けた支持プレートに固定もしくは着脱自在に取り付けられる。そして、この随動部材は、例えばフレームとこのフレームに回転自在に支持された前後1組の車輪あるいはローラから成り、フレームは、上記車輪を回転自在に支持した上方に前記支持プレートの縁部をスライド自在に受け入れる溝部と、この溝部に受け入れられた支持プレートを支持する支持面及び抜け防止機構とを有する。

【0008】

【作用】本発明装置では、車輻を停止させて所定の作業を行うときに、脚体を降下させると、随動部材の接地回転体が接地される。接地回転体は、硬質の素材によって形成されているので、弾力性のある車輻タイヤによって車体全重量を支える場合に比べ、安定した状態で車輻を支持する。作業場所を移動させる必要が生じた場合、そのまま車輻をゆっくりと走行させると、随動部材は接地部が回転するのでいちいち脚体の引き上げ操作をすることなくそのまま所定の場所に移動でき、移動箇所でも直ちに作業が再開される。

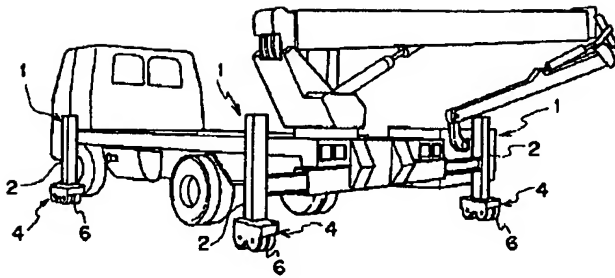
【0009】

【実施例】以下、本発明を図示した一実施例に基づいて詳説する。図1は本発明装置を適用した高所作業車の側面図で、図中符号1はこの作業車の両側前後に設けられたアウトリガー装置である。

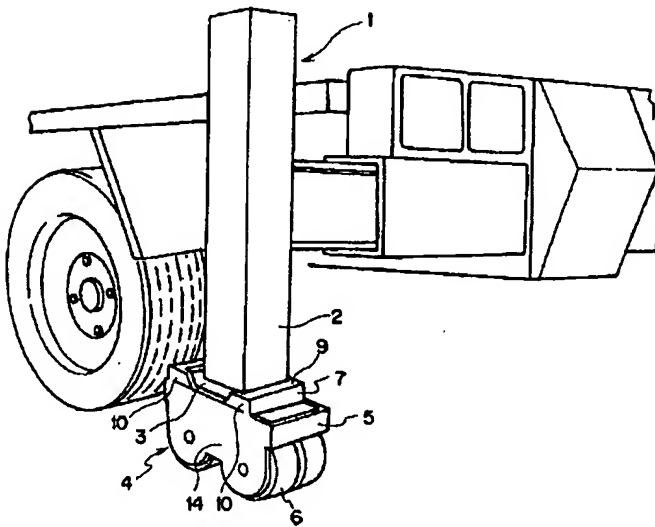
【0010】これらのアウトリガー装置は、それぞれ従来のアウトリガー装置と同様に油圧機構によって昇降あるいは伸縮される脚体2を備える。脚体2の下端には、図3及び図4に見られるように支持プレート3が固定され、この支持プレート3に随動部材4が着脱自在に取り付けられている。

【0011】随動部材4はフレーム5と随動車輪6とから構成され、フレーム5は上部に上記支持プレート3を掙脱自在に固定する固定枠7を有する。固定枠7は、支

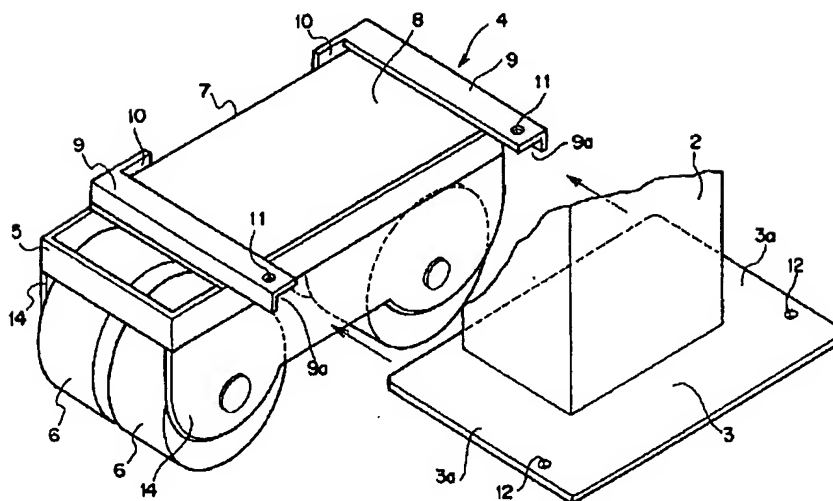
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

